

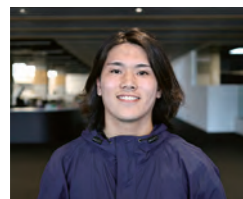


垂井町長 × 二十歳

今年度二十歳を迎える9人の若者たちと早野町長の対談を今年も実施しました。未来を担うみなさんに、自身の考えや垂井町について語っていただきました。

参加いただいたみなさんを紹介します

今回参加したのは「令和6年二十歳を祝う会」実行委員として、会の企画運営を担当するみなさんです。



吉田貴哉さん



清水 伯さん



伊藤愛葉さん



西川 怜さん



桐山千晴さん



伊藤航希さん



竹中啓人さん



藤井悠成さん



福本大晟さん



竹中啓人さん…緑豊かでのどかなところだと思います。私は都市部の大学に通っていますが、毎日電車で垂井に帰ってくると、車窓から見える緑や町並みを見ると心が落ち着きます。

落ち着くまちの風景と人の温かさ

町長…垂井町で生まれ育ったみなさんにとって、「垂井町の魅力」とはなんですか。

垂井町の魅力

町長…みなさん新年あけましておめでとうございます。昨年が続いて、今年度二十歳になられるみなさんと、自身のことや垂井町の未来についてお話したいと思います。よろしくお願ひします。

2024年 新年の挨拶

2024年は、垂井町が合併して70年になる節目の年であります。まちのにぎわいづくりの拠点となる多目的施設「ワイワイプラザ垂井」のオープンや「垂井町合併70周年記念事業」など、垂井町の歴史に新たな一歩を刻んでいきます。また、垂井町第6次総合計画後期5年計画に新たに掲げた重点戦略「若い世代や子育て世代に選ばれるまちづくり」「DXの推進による便利で快適なまちづくり」「次代に引き継ぐ、持続可能なまちづくり」の実現に向け、本年も町政運営に取り組む覚悟です。みなさまのご協力をお願い申し上げます。

垂井町長 早野博之



早野町長と令和5年度新規採用職員

福本大晟さん…人の豊かさ、人々が生き生きしているところだと思っています。現在町内の店舗でアルバイトをしています。お客さんと接したときに「お願いします」「ありがとうございます」という言葉をかけてくれる人が非常に多いです。そういう人たちと接すると嬉しくなるのでこのまちの魅力の一つだと思います。

町長…まちの「魅力」というと、自然が豊かなことや、商業施設があつて便利であることなどが想像されがちですが、みなさんは「人の心」を魅力と感じていることに大変嬉しく思います。私も、みなさんのような若い世代の人にそう思ってもらいたいです。

住み続けたいまち

町長…みなさんは「住み続けたいまち」をどんなまちだと考えますか？

安心できる環境

竹中啓人さん…生活する上で必要な環境が整っていることだと思います。若い世代であれば、「子育てがしやすいまち」だと住み続けたいかなるのではないのでしょうか。治安の良さや、子どもを遊ばせることができる公園、病院や商業施設など、必要とするものが当たり前であれば住み続けたいかなると思います。

清水伯さん…「治安の良いまち」であることが重要だと思います。安心安全に暮らせること

いと子育てができないので、若い世代は逃げていくと思います。

伊藤航希さん…地域内で毎日あいさつが飛び交う人間関係の良いまちであることだと思います。地域内での問題やトラブルが多いと住みづらいと思います。

町長…垂井町には綺麗で新しい施設は少ないかもしれませんが、朝倉運動公園や相川児童公園があり、病院や診療所も多数あります。スーパーや、JRの駅など、暮らすために必要なものがそろっているほうだと思います。治安が良いのは当たり前だと思います。自治会や地域コミュニティなどの人間関係も、時代の流れで近年は希薄化しているのが現状です。



進む人口減少 男女の出会いの場づくり

町長…私の高校時代は、現在より高校の数が少なかったですが、人口の増加に伴って増えていきました。現在は、子どもの数が減ってきているので非常に難しい問題と考えています。

町長…ここで人口の紹介をしたいと思っています。平成12年の町の人口は29,337人でした。約20年経った現在は26,126人で、当時から約3千人減少しています。町内で昭和51年に生まれた赤ちゃんは461人、みなさんが生まれた平成15年は26人で、令和4年はなんと126人です。これは全国どこの自治体でも同じ問題をかかえており、垂井町よりも深刻な自治体もあります。

こうした人口減少のなか、垂井町でも施策の一つとして、男女の出会いの場を創出する「街コン」を初めて商工会と共催で開催しました。みなさんはどのような「街コン」であつたら参加したいと思えますか。こうした人口減少のなか、垂井町でも施策の一つとして、男女の出会いの場を創出する「街コン」を初めて商工会と共催で開催しました。みなさんはどのような「街コン」であつたら参加したいと思えますか。

吉田貴哉さん…初対面で難しいかもしれませんが、日帰りのバス旅行とかだと参加してみたいと思います。

伊藤航希さん…美味しいごはんが食べられるなど、お得感があるイベントに参加したいです。

竹中啓人さん…垂井町内となると、参加していることがすぐ広まってしまうのではないかと心配です。参加するならプライバシーが守られるのが良いです。

町長…参加者で知っている人がいるとどうしても難しいですね。近年はマッチングアプリが普及しています。こちらの利用者が多い理由のひとつかもしれませんね。

DX(デジタルトランスフォーメーション)

町長…DXはデジタル技術を駆使して町民のみなさんの利便性を高めることです。垂井町でも、キャッシュレス化や住民票をコンビニで取得できるようにしました。また、学校や子ども園の保護者への連絡をアプリで行うなど、便利で快適な生活の実現に向けて取り組んでいるところです。ほかにもデジタル化すべきところなど、みなさんの意見をお聞かせください。

手間がかからない 行政サービスを

藤井悠成さん…役場ではないですが、銀行の窓口がいつも混雑していて不便に感じることはありません。窓口をデジタル化することで混雑が解消され、より便利になると思っています。

清水伯さん…役場でパスポートの手続きをした経験がありますが、行かなくても簡単に取得できたら便利だと思います。

桐山千晴さん…役場にどうしても行けない人がたくさんいると思います。その人たちが必要とする各種申請をもっとオンライン化して欲しいです。特にマイナンバーカードの更新手続きがとても大変だと聞いたことがあります。よりデジタル化できるとよいと思います。

町長…行政サービスで何かを交付するときには役場にお越しいただくものが多いと思いますが、

桐山千晴さん…ハロウィンや季節のイベントのなかに出会いの要素を取り入れるのいいと思います。

福本大晟さん…大人数ではなく、一対一や少人数でゆっくり話せるといいです。

藤井悠成さん…垂井町が主催する街コンに参加した人限定の特典があるのいいと思います。旅行券やクーポンなど、出会った人と次の機会も楽しめるといいと思います。

西川 怜さん…「街コン」と言われると参加しづらいので、まずは大きなイベントをもっと増やして欲しいです。

清水 伯さん…マッチングアプリのような役割を町が担うのはどうでしょうか。理想の相手の条件などを提出してもらって、その情報を元に町がマッチングの手伝いをすると良いと思います。

みなさんの「将来の夢」は？

町長…最後になりますが、みなさんの「将来の夢」を教えてください。

伊藤愛葉さん…私は看護師を目指して大学で勉強しています。看護師になって、将来的には在宅看護に携わりたいと思っています。私の曾祖父が在宅看護であったのがきっかけで、在宅看護を必要とする人の助けになりたいと思っています。

桐山千晴さん…私は管理栄養士を目指して

ます。しかし、時代は変わりつつあります。これからはみなさんが担っていく時代です。どんな変化していくと思うのでぜひ勉強していただきたいです。



垂井町に足りないもの

町長…今の垂井町に足りないものや、あつたらいいなと思うものがあれば教えてください。

清水伯さん…高校がもっとたくさんあると良いと思います。町内にも高校はありますが、みんなが受験したいと思える学校があると良いと思います。

大学で勉強しています。将来は学んだ知識を活かし、自分にあつた病院や保健所で働きたいです。

西川 怜さん…私は消防士になって活躍したいです。よりたくさんの人たちの命を救いたいと思っていますので、現在、救命救急士の資格取得に向けて毎日勉強に取り組んでいます。

町長…どれも大変な仕事だと思いますが、ご自身の経験から夢を見ついたり、明確な目標を持って取り組むことは素晴らしいと思います。ぜひ夢を叶えて、垂井町で活躍してもらえたら嬉しいです。

みなさんは、これからは今まで培ってきたものを社会に還元していく立場になります。今後、どう社会に関わっていくかを考えながら今から生活して欲しいと思います。また、何かの縁があつて垂井町に生まれ育つたことを忘れないで欲しいです。本日は貴重な意見をありがとうございます。

最後に今年の目標をそれぞれ書いていただきました。目標が「タツ」成できるよう、今年1年頑張ってください！

